

国内初

未知の迷惑電話番号でも拒否できます

トビラフォン利用者全体で、未知の迷惑電話番号をブロック

トビラシステムズの管理するサーバーには公的機関(警察・自治体)およびトビラフォン利用者から収集した迷惑電話の情報が蓄積されています。(現在、迷惑電話番号は2万5千件以上登録されています)その情報をもとに独自の迷惑電話解析技術※1を駆使し、トビラフォン利用者全体で着信拒否設定とする迷惑電話かどうかを解析します。(特許取得済)

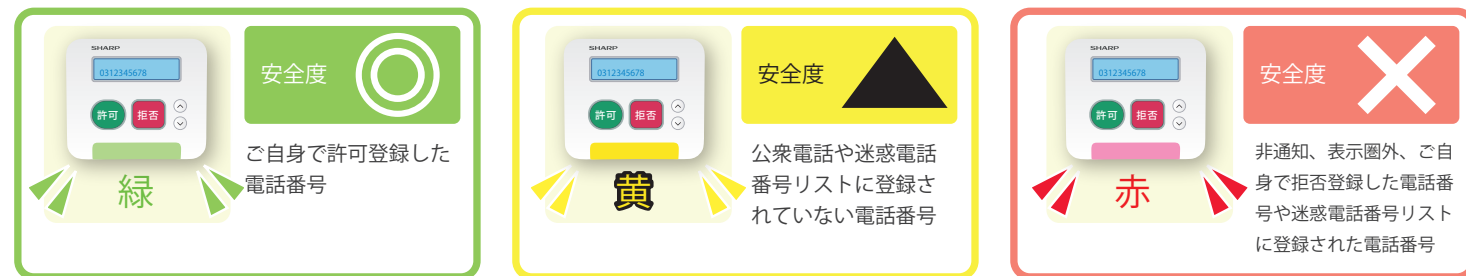
その結果、トビラフォン利用者全体で着信拒否設定と判断されると、まだその電話番号から着信していないトビラフォン利用者にも着信拒否設定が適用されます。

この技術により、未知の迷惑電話番号を拒否することが可能となります。もちろん、トビラフォン利用者全体で着信拒否設定になった番号であっても、トビラフォン利用者は個別に着信許可設定することが可能です。

※1 高い迷惑電話判別率を維持するとともに、解約された電話番号や嫌がらせ・イタズラで拒否された電話番号が迷惑電話番号リストに登録されないように安全面も配慮されています。また、誰か一人が拒否しただけでは迷惑電話番号リストに登録されません。



本体のLED発光色により、ひと目で着信電話番号の安全度がわかる!



導入が簡単

線をつなげばスグ使えます

ご利用にあたっての面倒な設定は一切ありません。今お使いの電話機にトビラフォンを接続※2するだけでスグに使い始めることができます。

※2 電話機コードが付属します。



ナンバーディスプレイ等の電話番号表示サービスの契約が必要です。

利用者の声

本当に迷惑電話がなくなりました

生命保険や健康食品、投資話など聞いたことのないような会社からの電話が毎日のかかってきていて迷惑していました。中には、断った途端ひどい言葉遣いで脅してくるような電話もあり、妻は電話が怖くなってしまいました。以前は、電話機の機能を使って迷惑電話を1件1件着信拒否登録していたのですが、操作も難しく電話番号が次々と変わる手口には対処できませんでした。トビラフォンを設置してからは、そのような電話はかかってこなくなり、非通知も拒否できるので安心して電話に出ることができるようになりました。月の料金もコーヒー1杯分と、とても良心的ですね。

動作説明



対策機器貸与申請前の確認事項

対策機器の貸与申請前に下記事項について確認してください。

利用できる電話機

電話線モジュージャック(RJ11ポート)に対応している電話機。

対策機器の利用に必要なサービス

対策機器を利用するには、発信者の電話番号を表示するサービス(ナンバーディスプレイなど)に加入していることが必要です。

対策機器を利用できない電話機

内線電話・主装置から構成される電話機(ビジネスフォン・ホームテレホンなど)では、対策機器を利用できません。

対策機器を利用できない電話サービス

0120から始まるフリーダイヤルへの発信ができない電話サービス(一部の050 IP電話など)、固定電話回線の電話網(PSTN)を使用しない電話では、対策機器を利用できません。